


導入事例　順天堂大学

# 講義資料が、そのまま補講動画になる。

イメージ

教員の手元には、長年磨いてきた講義資料がある。それを補講や予習・復習、学会発表のための動画として届けられたら——。順天堂大学は、資料からナレーション付きの説明動画をつくる「Sylavids（シラビズ）」を、教職員約3,000名を対象に導入した。導入を担当した中塩義幸氏に、ねらいと手応えを聞いた。

## 積み重ねてきた良質な講義資料を、動画でも届けたかった

ねらいは、教育方法の多様化にある。「学ぶ側にも教える側にも、方法がいくつかあっていい」と中塩氏は話す。

大学は図書館のようなもの、とも例える。先生方が積み重ねてきた紙の資料には良いものが多い。それを紙のままにせず、別の形でも届けたかったという。

壁になっていたのは、手間と費用だ。動画にするには技術が要り、外部に頼めば素材の受け渡しと確認の往復が続く。留学生向けの翻訳も翻訳会社に委託し、二次・三次の確認が欠かせなかった。

**「伝えたいことは多く、先生方の時間は限られている。だから、読む資料を“聞いてわかる数分”に変えました。」**

— 中塩 義幸 氏

## 決め手は、いつもの PowerPoint をそのまま動画にできること

汎用の生成 AI ツールも検討した。ただ、「資料を動画にして届ける」という目的には届かなかった。Sylavids は、先生方が授業でよく使う PowerPoint をそのまま取り込める。「数千人の組織では、使いやすくなければ広がらない。そこが最優先でした」と振り返る。

大学として AI の活用を進める方針とも重なった。教職員約3,000名の規模では、汎用ツールの上位の契約を全員分そろえるより、目的に合った道具を選ぶほうが現実的だったという。

**中塩 義幸 氏**（なかしお・よしゆき）
順天堂大学 教育・学生支援機構
教育・学生支援企画室／AI推進センター 室長

**順天堂大学**　1838年創立。日本橋の蘭医学塾を起源とする私立大学。9学部・8研究科・6附属病院。
※ 所属・役職・数値は2026年11月の取材時点。

順天堂大学での使い方

### 1つの講義資料から、5つの使い道

**手元の講義資料**
PowerPoint・PDF
つくり直さずに

→ Sylavids
原稿・声・字幕を付けて動画に →

- **補講動画**　授業の外で、いつでも
- **予習・復習**　学生が自分のペースで
- **学会発表**　ポスターを声付きで
- **学内の案内**　ガイダンスや引き継ぎも
- **英語・中国語**　留学生や海外向けにも




## 補講から会議の資料まで、教員と職員が自分で動画に

先生方の使い方で最も多いのは、補講と、予習・復習の教材だ。「授業をすべて動画に置き換えるには、まだ抵抗がある。でも補講や復習なら、すぐに使える」。複数キャンパスで同じ授業をそろえる取り組みや、学会のポスター発表を声付きの動画にまとめる先生もいる。

中塩氏自身も、文部科学省の資料を5〜7分の動画にして会議で使った。作成にかかったのは10〜15分ほど。「広報用の動画を外に頼めば、やり取りで1週間以上かかる。それを経験してきた人には、信じられない速さです」。

大学は、全学への案内も Sylavids で行った。操作説明の資料を動画にして届け、約1,500名が視聴。最も多かった感想は「知れてよかった」。次は事務職員にも広げ、業務のポートフォリオを動画で残したいという。

## 次の課題は、学生への教育効果を確かめること

学生への聞き取りと到達度の確認を組み合わせ、2030年に向けて教育効果を評価していく計画だ。

### 見る動画から、考えて答える動画へ

次のステージとしては、動画内にクイズや練習問題を組み込み、単なる知識伝達型の動画から、学生が考え、回答し、理解を深める演習型の動画教材へと発展させるためのFDを展開していきたい。

将来的には、AIとの連携による問題の自動生成、個々の理解度に応じた解説やフィードバックなど、教育・学修の質を高める多様な活用方法に展開していくことを期待したい。

— 中塩 義幸 氏

導入前と導入後

## 1週間かかった動画が、1本10〜15分に

| 観点 | 導入前 | 導入後 |
|---|---|---|
| 制作 | 外部業者か職員に依頼 | 教員・職員が、自分で |
| 時間 | 外部に頼むと、1週間以上 | 10〜15分（1本の例） |
| 翻訳 | 翻訳を外注し、何度も確認 | 同じ資料から英・中 |
| 届け方 | 長い文書を、各自が読む | 要点を数分の動画で |

※ 時間は会議資料1本の例。

実際の画面

## 取り込んだ資料に、原稿と声が付く




1 スライド　2 元のデザインのまま　3 AI の原稿を人が確認

その結果、何が変わるのか

## 変わるのは、時間だけではない

**「一番大きいのは、働き方が変わることです」**

### 必要な日に間に合う

外部への依頼と確認待ちがなくなり、授業や会議の日程に合わせて用意できる。

### 管理にゆとりが生まれる

制作の依頼や部署間の調整が要らず、限られた人数のまま、ほかの業務に手を回せる。

### 先生は研究に力を回せる

講義資料が動画の教材として残り、その分の力を研究やほかの教育に回せる。

## あなたの大学でも、手元の講義資料1本から始められます。

用意するのは PowerPoint か PDF の資料だけ。撮影も動画編集もいりません。企業・団体の研修や社内案内のご相談も承ります。

教務・FD・情報部門のご担当者さま、先生方へ

### まずは、導入を相談する

利用人数や学内への案内の進め方、運用の体制を、貴学の資料をもとにご一緒に整理します。

**splineglobal.com/contact/**　**TEL 050-3623-2915**

先生ご自身でまず試す場合は、app.sylavids.com/signup からアカウントを作成できます（スタータープラン 月3,000円・税別〜、2026年11月時点）。

**スプライングローバル株式会社**
Sylavids 提供元／本事例の取材・文：代表取締役 藤松 良夫

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-2-1 武蔵野ビル2階
TEL 050-3623-2915　info@splineglobal.com　splineglobal.com